

序章 本調査の背景と目的

序章 本調査の背景と目的

(1)本調査の背景と目的

本調査の対象である東小金井駅周辺では、J R中央本線の高架化に伴い、北口においては東小金井駅北口土地区画整理事業によるまちづくりが、南口においては、平成23年3月に策定された「小金井市産業振興プラン」における推進事業である「商店街振興モデル地区事業」による商店街の活性化の取り組みが行われている。

一方、J Rの高架下においては、昨年、J R東日本により、商業施設の導入とともに新たに改札口を設置する考えが示されたが、市内商業者において駅利用者の歩行ルートの変化や商業施設立地に伴う周辺商業への影響が懸念される状況の中で合意形成が進まず、高架下の土地利用が進まない状況となっている。

以上より、本調査は、上記の状況を打開するため、東小金井駅高架下における商業施設の導入や新たな改札口設置に伴う影響を調査し、小金井市の今後の対応の基礎資料とするものである。

(2)調査対象範囲

本調査の対象範囲は、下図に示すとおりである。

■ 調査対象範囲

